



GOVERNOR's MONTHLY LETTER

2025-26 ガバナー月信 1月号

【Vol.7 January 2026】

地区大会を理解し楽しむ



国際ロータリー第 2580 地区

2025-26 年度ガバナー

中川 雅雄

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

さて本年度の地区大会は2月26日（木）、ホテルニューオータニで開催されます。ロータリー章典では「地区大会は国際ロータリーの理念を推進し、地区内のクラブや会員、地域リーダーが集まり、研修・意思決定・交流を行う重要な年次行事である」と規定されています。地区内では全てのメンバーが一堂に集まる最大の行事です。開催時期の規定はありませんが、当地区（東京・沖縄）は2月の下旬に開催されるのが慣例になっています（昨年は会場の都合により4月下旬に開催）。理由としてガバナー公式訪問が終わり、次年度の大重要な行事が3月にあります。「地区チームラーニングセミナー」、「クラブ会長エレクトラーニングセミナー（本年度より研修をラーニングに変更しました）」が開催されるためです。

日本全国の各地区大会は事情によりまばらですが、早いところでは9月下旬からはじまり翌年の4月まで開催され、10・11月に集中する傾向があります。このように開催時期がまばらな理由は地区大会をどのような視点で考えるかが地区よって違うからです。国際ロータリーの本年度の方向性やガバナーのメッセージを各クラブが本格的に動く前に指し示すことを重点に置いて、クラブに所属する全てのメンバーに伝えたい場合は年度の前半（9・10・11月）に開催します。反対に各クラブの年度の奉仕活動がほぼ終了し、地区全体

「地区の大きな目標」

1. クラブをもっと元気にしよう。
例会を楽しくしよう。
2. 地域社会に役立つ活動をしよう。
3. デジタルをうまく役立てよう。
+ONE よい事はマネしよう。

の総括的な役割りを地区大会に求める場合は年度の後半（3・4月）に開催する傾向があります。どの時期に地区大会を開催することが最もふさわしいのかについては、地区ごとの事情や考え方によって異なります。ぜひ皆さんも、「地区大会を何のために行うのか」という視点で考えてみてください。

地区大会の大きな役割の一つが「研修」です。今回は RI 現況報告を中谷研一 RI 理事エレクトに、大会総括を四宮孝郎 RI 理事エレクトにお願いしました。

すでにご登録いただいている皆さん、また参加を予定してくださっている皆さんに、心より感謝申し上げます。本大会の開催にあたっては、ホストクラブである東京紀尾井町ロータリークラブに多大なるご尽力をいただいております。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

地区大会は、研修や意思決定という役割に加え、地区の仲間と一緒に会し、交流を深め、新たな気づきや刺激を得られる貴重な機会でもあります。普段はなかなか顔を合わせることのない会員同士の出会いが、ロータリーの広がりと楽しさをあらためて実感させてくれるはずです。

ぜひ当日を楽しみにしていただき、参加される一人ひとりが関わることで、皆で「よい地区大会」をつくり上げていきたいと考えています。多くの皆さんと会場でお会いできることを、心より楽しみしております。

ロータリークラブにおけるハラスメント対策その1

地区法務担当 川 義郎(弁護士)
所属: 東京浅草ロータリークラブ

1 ハラスメントの構造

ロータリークラブ(以下「RC」といいます。)では、過去から現在に至るまで、さまざまなハラスメントが存在した。一部は刑事事件として取り扱われ、メディアで報道されたものもある。

その構造は、主に①会員から事務局・例会会場等の職員に対するもの、②会員から米山奨学生に対するもの、及び③ベテラン会員から若手会員に対するものに分類される。いずれも、RC内の立場が上の者から下の者に対するハラスメントである。

2 ハラスメントの原因

ハラスメントの原因は、ハラスメントを行う会員において、「許されない基準」のアップデートがされていない点にある。すなわち、パワハラ・セクハラの基準が厳しくなり、不問とされていた行為が許されないものとなっているにもかかわらず、「過去の基準」に基づいて「これくらいは許されるだろう」という認識で事に及ぶものである。さらに、パワハラに関しては、「自分が正しい」「(他人の)間違いは正されるべきだ」という認識で、反駁しにくい事務局、例会会場等の職員、米山奨学生及び若手会員に対し、その「正しさ」を押しつける類型が多くみられる。

(この続き=「3. ソフトな対策例」、「4. 持続性があるロータリークラブを目指して」はガバナー月信2月号に掲載します)

地区サイト
中川ガバナー
メッセージ地区大会の
お知らせ

第 2580 地区クラブ数・会員数

2025年11月30日時点の集計結果

7月1日: 3,007名 (内女性 350名・11.64%)

11月末日: 3,126名 (内女性 367名・11.74%)

クラブ数: 73RC

今年度入会: 168名

今年度退会: 49名

今年度純増: 119名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団 メジャードナー

河合 由里子 【東京紀尾井町】

ベネファクター

川村 雅憲 【東京武蔵野中央】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

18回	芝 久雄	【東京江北】
7回	伊志嶺 匡	【那覇】
6回	畠山 信弘	【東京江北】
5回	秋本 誠一	【東京武蔵野】
	津嘉山 伸	【那覇】
4回	中井川 栄和	【東京練馬西】
	櫻井 秀夫	【東京武蔵野】
3回	中山 直幹	【東京江戸川】
	今井 太郎	【東京江北】
	小林 豊	【東京武蔵野】
	中里 昭	【東京小平】
2回	高橋 史郎	【東京江北】
	高倉 秀彦	【東京武蔵野】
	正野 建樹	【東京武蔵野】
1回	星 英典	【東京練馬西】
	磯部 昌美	【東京武蔵野】

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

西岡 有子	【東京練馬西】
小黒 将年	【東京江戸川】
内野 賢一	【東京小平】

米山功労者・マルチプル

34回	鈴木 喬	【東京江北】
14回	伊藤 隆	【東京江北】
8回	戸塚 誠一郎	【東京江北】
6回	畠山 信弘	【東京江北】
4回	村田 雪夫	【東京後楽】
3回	岩崎 和浩	【東京江北】
2回	今井 太郎	【東京江北】

12月24日現在

謹んで哀悼の意を表します

米川 和秀(よねかわ かずひで)会員 東京新宿 RC

逝去日 2025年11月22日 享年 91

入会日 2019年3月1日

株式会社ジーピー 代表取締役社長

ポール・ハリス・フェロー

飯塚 保人(いいづか やすんど)会員 東京紀尾井町 RC

逝去日 2025年12月7日 享年 82

入会日 1995年1月1日

アイエスケーコンサルティング株式会社 最高顧問

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小島 清治(こじま せいじ)会員 東京紀尾井町 RC

逝去日 2025年12月17日 享年 84

入会日 2007年5月1日

日本共同株式会社 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

